

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
精神看護学概論	1年次後期	1	15	(看護師として8年)
<b>科目のねらい</b> パーソナリティの成長発達に伴うストレスや危機、生活の場におけるこころの問題、精神機能の中このころを守る働き、リエゾン精神看護を学び、こころの健康の大切について理解を深める。 精神医療保健福祉については歴史の変遷を学び、精神障がい者を取り巻く社会の動向、法制度、今後の課題を理解する。				
<b>到達目標</b> 1. 精神看護の基本概念と目的を学び、対象を理解することができる。 2. 精神医療の歴史の変遷を学び、精神障がい者を取り巻く社会状況について理解できる。				
<b>DPとの関連</b> ◎2. 人を尊重し、思いやりの心をもって行動することができる。 3. 看護の対象となる人々の健康上の課題に対し、科学的根拠に基づく知識・技術を習得し、看護実践ができる。				
<b>授業計画</b>				
回	目標	学習内容	方法	担当
1	精神看護学の基本的考え方が理解できる	精神看護学の基本的考え方 精神看護学の対象	講義	
2	精神医療の動向と課題について理解できる	こころのケアと日本社会（災害と心のケア、自殺の問題とメンタルヘルス	講義	
3		世界的な課題としてのメンタルヘルス、世界から見た日本の精神科医療の課題、精神科医療のニーズと考え方	講義	
4	精神保健の考え方について理解できる	精神の健康とは 心身の健康に及ぼすストレスの影響	講義	
5		ストレス脆弱性とストレス耐性 ストレングスとレジリエンス	講義	
6	精神保健医療の歴史と変遷	欧米、日本の精神保健医療の歴史	講義	
7	精神看護に関連した法制度について理解できる	精神障害者にとっての法律、精神科看護師にとっての法律、精神障害者の保険医療福祉制度（精神保健福祉法、障害者総合支援法）	講義	
8			講義	
<b>受講上の注意</b>  能動的に授業に参加する。		<b>関連科目</b> 心理学、看護者のための心理学 基礎看護学概論、成人看護学概論 老年看護学概論、小児看護学概論 母性看護学概論、精神看護学概論 精神看護学方法論Ⅰ 精神看護学方法論Ⅱ 精神看護学方法論Ⅲ		
<b>事前および事後学習</b>  関連科目の既習内容については復習しておく。				
<b>成績評価の方法</b>  筆記試験80% 平常点10% レポート提出10%				
<b>教科書・参考書・その他の教材</b> 精神看護学①精神看護の基礎（医学書院） 精神看護学②精神看護の展開（医学書院）				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
精神看護学方法論 I	2年次前期	1	15	(医師として26年)
<b>科目のねらい</b> 主な精神疾患の症状、検査、診断および治療について理解し、生活への影響について理解する。				
<b>到達目標</b> 1. 精神疾患の症状と対象を理解するための基本的知識・技術を習得することができる。				
<b>DPとの関連</b> ◎2. 人を尊重し、思いやりの心をもって行動することができる。 ◎3. 看護の対象となる人々の健康上の課題に対し、科学的根拠に基づく知識・技術を習得し、看護実践ができる。				
<b>授業計画</b>				
回	目標	学習内容	方法	担当
1	精神科医療の動向を述べることができる	精神科医療の動向と課題 診断と疾病分類	講義	
2	統合失調症の発生机序、症状、検査、治療が理解できる	統合失調症の発生机序、症状の分類、病型と症状、検査、治療（薬物療法、精神療法、精神科リハビリテーション）	講義	
3			講義	
4	気分障害について理解できる	双極性障害、うつ病の症状と診断基準、治療（薬物療法、精神療法、精神療法、電気けいれん療法）	講義	
5			講義	
6	神経症性障害、ストレス関連障害及について理解できる	社交恐怖、広場恐怖、パニック障害、全般性不安障害急性ストレス反応、心的外傷後ストレス障害の症状、治療	講義	
7	精神作用物質使用による精神および行動の障害が理解できる	アルコール症の症状、治療 薬物依存症、ギャンブル（ゲーム）障害の予防、治療	講義	
8	パーソナリティ障害について理解できる	パーソナリティ障害の分類、検査、治療	講義	
<b>受講上の注意</b> 能動的に授業に参加する。		<b>関連科目</b> 心理学 看護者のための心理学 精神看護学概論 精神看護学方法論Ⅱ 精神看護学方法論Ⅲ 精神看護学実習		
<b>事前および事後学習</b> 関連科目の既習内容については復習しておく。				
<b>成績評価の方法</b> 筆記試験100%				
<b>教科書・参考書・その他の教材</b> 精神看護学①精神看護の基礎（医学書院） 精神看護学②精神看護の展開（医学書院）				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
精神看護学方法論Ⅱ	2年次前期	1	30	(看護師として10年)
<b>科目のねらい</b> 対象の特徴とその状態に応じた看護について学ぶ。特に精神症状や回復過程に応じた援助、薬物療法を受ける対象の援助など、精神看護を展開するための基礎的知識と技術を学ぶ。また、精神障がいをもつ対象が、自立した社会生活を送るために必要な社会資源の活用や精神保健福祉サポートチームや他職種の連携についての理解も深める。				
<b>到達目標</b> 1. 精神疾患の症状と対象を理解するための基本的知識・技術を習得することができる。				
<b>DPとの関連</b> ◎3.看護の対象となる人々の健康上の課題に対し、科学的根拠に基づく知識・技術を習得し、看護実践ができる。 5.保健医療福祉チームの一員として多職種と協働し、地域共生社会における看護の役割と責任を理解することができる。				
<b>授業計画</b>				
回	目標	学習内容	方法	担当
1	精神科における看護の役割を説明できる	精神科における観察の意義 治療的環境と看護師の役割	講義	
2	精神科における検査・治療時の看護を理解できる	精神科における検査・治療 (脳波、心理検査、精神療法、電気けいれん療法)	講義	
3	薬物療法を受ける患者の看護を理解する	錐体外路症状 非特異的な副作用(起立性低血圧、月経不順、乳汁漏、肥満など)	講義	
4		薬物療法(内服薬、デポ剤) 薬物の有害反応(悪性症候群、麻痺性イレウス、水中毒、横紋筋融解症、リチウム中毒等)	講義	
5	急性期の対象の特徴に応じた援助を説明できる	統合失調症の事例を通して、急性期の援助を学ぶ 入院形態、行動制限(隔離、身体拘束、代理行為:金銭管理、私物管理)、処遇の基準 幻覚・妄想の看護、興奮状態の看護	講義	
6	回復期の対象の特徴に応じた援助を説明できる	統合失調症の事例を通して、回復期の援助を学ぶ 作業療法、生活療法、認知行動療法、SSTにおける看護	講義	
7	慢性期の対象の特徴に応じた援助を説明できる	統合失調症の事例を通して、慢性期の援助を学ぶ 長期入院患者の看護、無為・好癖、自閉の看護	講義	
8	社会復帰に向けた対象の特徴に応じた援助を説明できる	統合失調症の事例を通して、社会復帰のに向けた援助を学ぶ 社会資源の活用の実際、精神科訪問看護、精神科デイケア、ナイトケア 家族への援助	講義	
9	症状に応じた援助について説明できる	気分(感情)障害患者の事例を通して、急性期、回復期の症状に応じた援助を学ぶ 急性期:抑うつ状態、睡眠障害 回復期:自殺企図	講義	
10		気分(感情)障害患者の事例を通して、創状態の対象の援助を学ぶ	講義	
11		神経症性患者の事例を通して、不安状態、強迫思考・強迫行為のある対象の援助を学ぶ	講義	
12		パーソナリティ障害患者の事例を通して、操作的状態の対象の援助を学ぶ 感情転移	講義	
13		摂食障害患者の事例を通して、対象の状態に応じた援助を学ぶ 拒食・過食、身体面(低栄養、身体合併症)、行動面、精神面の援助	講義	
14	精神作用物質による精神および行動障害のある対象の看護について説明できる	アルコール依存、薬物依存患者の看護 離脱期、回復期の看護 自助グループの活動	講義	

15	精神科で発生しやすい事故の特徴と対応及び防止策を説明できる	精神科で発生しやすい事故の特徴及び対応、防止策 自傷行為、自殺、他害行為、離院、異食、誤嚥、転倒 事故発生時の対応	講義	
<b>受講上の注意</b>  能動的に授業に参加する。		<b>関連科目</b> 心理学 看護者のための心理学 精神看護学概論 精神看護学方法論Ⅰ 精神看護学方法論Ⅲ 精神看護学実習		
<b>事前および事後学習</b>  関連科目の既習内容については復習しておく。				
<b>成績評価の方法</b>				
<b>教科書・参考書・その他の教材</b> 精神看護学①精神看護の基礎（医学書院） 精神看護学②精神看護の展開（医学書院）				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
精神看護学方法論Ⅲ	2年次 後期	1	30	(看護師として9年6か月) (看護師として5年)
<b>科目のねらい</b> 患者－看護師関係を発展させるため、コミュニケーション方法（アサーティブコミュニケーションやコーチング技術）や対処能力を高める方法（アンガーマネジメント）、リフレクション（プロセスレコード）について学ぶ。また、統合失調症の事例を用いて、精神障がいのある対象の看護を展開する基礎的知識・技術について学びを深める。				
<b>到達目標</b> 1. 精神に障がいのある対象の特徴を学び、必要な看護アセスメントと援助方法を理解できる。 2. 精神に障がいのある対象に対する生活支援の実際と精神保健医療福祉における看護師の役割を理解する。				
<b>DPとの関連</b> ◎3.看護の対象となる人々の健康上の課題に対し、科学的根拠に基づく知識・技術を習得し、看護実践ができる。 5.保健医療福祉チームの一員として多職種と協働し、地域共生社会における看護の役割と責任を理解することができる。				
<b>授業計画</b>				
回	目標	学習内容	方法	担当
1	効果的コミュニケーションと治療的関わりについて述べる ことができる	効果的コミュニケーション技法	講義	
2		アサーティブコミュニケーション アンガーマネジメント	講義	
3	精神障害がコミュニケーションに与える影響について述べ	精神疾患がコミュニケーションに与える影響 精神疾患を持つ対象へのケアの原則	講義	
4	患者-看護師関係における、 自己の傾向や課題について述 べることができる	関係のアセスメント	講義	
5		対象の症状や状態に応じた関わり	ロール プレイ	
6		プロセスレコード検討会	GW	
7	精神疾患を持つ対象に対する 看護過程の展開の考え方を理 解できる	精神障害のある対象者の看護過程の展開 情報収集の視点	GW	
8		精神障害のある対象者の看護過程の展開 情報収集の視点	GW	
9		精神障害のある対象者の看護過程の展開 情報分析の視点	GW	
10		精神障害のある対象者の看護過程の展開 情報分析の視点	GW	
11		精神障害のある対象者の看護過程の展開 情報分析の視点	GW	
12		精神障害のある対象者の看護過程の展開 全体関連図（作成）	GW	
13		精神障害のある対象者の看護過程の展開 全体関連図（作成）	GW	
14		精神障害のある対象者の看護過程の展開 全体関連図（発表）	GW	
15		精神障害のある対象者の看護過程の展開 全体関連図（発表）	GW	
<b>受講上の注意</b>  能動的に授業に参加する。		<b>関連科目</b> 心理学 看護者のための心理学 精神看護学概論 精神看護学方法論Ⅰ 精神看護学方法論Ⅱ 精神看護学実習		
<b>事前および事後学習</b> 関連科目の既習内容については復習しておく。				
<b>成績評価の方法</b> 平常点10% ルーブリック評価 ポートフォリオ				
<b>教科書・参考書・その他の教材</b> 精神看護学①精神看護の基礎（医学書院） 精神看護学②精神看護の展開（医学書院）				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
精神看護学実習	3年次前期	2	90	(看護師として5年)

### 重点目標

精神に障害を持つ対象の日常生活の自立及び社会生活への適応に向けた看護実践ができる。

### 学習活動

1. 精神科実習の目的、ルーブリックに添った自己のビジョンを明確にし、必要な学習を行う。
2. 精神に障害を持つ対象の身体・精神・社会的特性を理解している。
3. 精神に障害を持つ対象のセルフケアに向けた日常生活の援助ができる。
4. 社会復帰の為に必要な支援を考え説明できる。
5. 患者 - 看護師関係における相互作用を理解し、患者に適した接近技術の重要性が理解している。
6. 看護実践を通して自己の看護に対する考えを明らかにできる。
7. 看護学生として望ましい態度で実習に臨むことができる。

### DPとの関連

◎3.看護の対象となる人々の健康上の課題に対し、科学的根拠に基づく知識・技術を習得し、看護実践ができる。  
4.保健医療福祉チームの一員として多職種と協働し、地域共生社会における看護の役割と責任を理解することができる。

### 授業計画

回	目標	学習内容	方法	担当
1	実習1日目	病院、病棟オリエンテーション、受け持ち患者情報収集	臨地実習	
2	実習2日目	受け持ち患者を通して看護実践	臨地実習	
3	実習3日目	受け持ち患者を通して看護実践	臨地実習	
4	実習4日目	受け持ち患者を通して看護実践	臨地実習	
5	実習5日目	受け持ち患者を通して看護実践	臨地実習	
6	実習6日目	受け持ち患者を通して看護実践 ※2週目に施設見学	臨地実習	
7	実習7日目	受け持ち患者を通して看護実践	臨地実習	
8	実習8日目	受け持ち患者を通して看護実践	臨地実習	
9	実習9日目	受け持ち患者を通して看護実践	臨地実習	
10	実習10日目	受け持ち患者を通して看護実践 実習の振り返り、まとめ	臨地実習	
11	学内実習	学びの共有	GW	
12		学びの共有	GW	

### 受講上の注意

1. 看護専門職としての倫理観に基づいて実習を行う。

### 関連科目

心理学  
看護のための心理学  
精神看護学概論  
精神看護学方法論Ⅰ  
精神看護学方法論Ⅱ  
精神看護学方法論Ⅲ

### 事前および事後学習

実習要項を基に精神看護に必要な事前学習

### 成績評価の方法

実習内容に基づく評価表を用いて評価する

### 教科書・参考書・その他の教材

精神看護学①精神看護の基礎 (医学書院)  
精神看護学②精神看護の展開 (医学書院)